

令和2年2月3日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標 題 浜田地方農業研修生等と指導農業士の交流会を開催しました！

(ダイジェスト)

1月23日、浜田管内の農業研修生および新規就農者（雇用就農者を含む）と指導農業士の交流会を開催しました。当日は、新規就農者のほ場見学を行い、具体的な営農現況について意見や助言が交わされ、意見交換会では「新たな担い手を確保し定着させるためには」をテーマに意見交換を行いました。

1月23日に浜田地方農林業振興協議会、浜田地方農業士会および西部農林振興センターの共催により、浜田市および江津市の農業研修生および新規就農者を対象に、指導農業士との交流会を開催しました。当日は、雇用就農を含む新規就農者、指導農業士、関係機関を合わせ26名の参加があり、新規就農者のほ場見学のほか、意見交換会を行いました。

新規就農者のほ場見学では、平成30年に就農した新規就農者3名のほ場等を訪れ、ほ場現場を前にして、現在の営農状況や課題について農業士や関係機関から率直な助言やアドバイスが行われました。

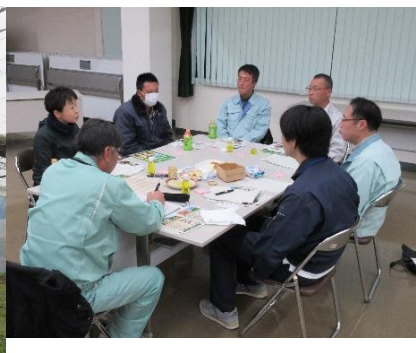
その後、「新たな担い手を確保し定着させるためには」をテーマとして、6～7名のグループに分かれて意見交換を行った後、各グループより意見内容の発表が行われました。

出された意見には、「女性の就農希望者が増えている。女性が一人で就農できるような配慮、環境づくりが必要。」、「就農希望者へは、現在と将来の農業をしっかりとイメージできる情報（人、もの、制度）を提供することが重要。」など、更なる受入体制の充実や就農者がより現実的に将来ビジョンを創造出来るようなサポートが必要であることなど貴重な意見が出されました。

今回の交流会は、農業研修生や新規就農者が現在抱えている不安や悩みなどを共有する場となったとともに、指導農業士や関係機関は率直な意見を聞く事ができる貴重な機会となりました。この交流会をきっかけに、新規就農者等や農業士、関係機関の繋がりが強まり、新規就農者等の抱える不安や悩みを解決できる糸口になればと期待しています。



新規就農者のほ場視察



意見交換会の様子

